

No. 169

令和2年6月12日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

Rising Sun



治に居て乱を忘れず

【治に居て乱を忘れず】 いつでも万一のときの用意を忘れないこと。世の中が平和な時でも、世が乱れた時の場合を考えてその用意を忘れない。

▶ 原文 「是の故に君子は安くして危うきを忘れず。存して亡を忘れず。治にして乱を忘れず（だから君子は安泰な時にも危急の時を忘れず、長らえている時も亡びることを忘れず、よく治まっている時も乱れる道を忘れない）」

▶ 類句 安に居て危を思う

三省堂 実用「ことわざ慣用語辞典」より

本格的に学校が再開されて10日あまりが過ぎました。毎日、授業の様子や給食の様子を参観させてもらっていますが、落ち着いて授業を受けていたり、混乱なく学校生活を送ることができていたりして、ねらいどおり「緩やかなスタート」を切ることができたように思います。学年通信や学級通信の内容からも、それがよく伝わってきます。

新たに着任した英語の原由香里先生に青陵中学校の印象やら感想を尋ねたところ「申し分ありません。褒めるところばかりです。チャイム前に着席できているし、教科書などの準備もばっちり。授業もとてもやりやすく助かっています。一つだけ欲を言えば、反応が鈍いところでしょうか。でも、言えばわかってくれる子たちばかりです」。こんなお褒めの言葉をいただきました。

今年度新たに TEAM SEIRYO に加わった先生がたの目には、青陵中生はどのように映っているのでしょうか。折にふれ感想を聞かせていただきたいと思います。

長いこと同じ環境にいと、あたりまえの気になってしまいがちですが、「あたりまえ」が「ありがたい」と思うようにしなければなりません。

「治に居て乱を忘れず」学校訪問等の校長謝辞で取り上げた言葉なので、以前から青陵中学校に在籍していたかたは、一度は耳にしたことがあると思いま

す。中学校で校内暴力の嵐が吹き荒れていた時代、青陵中学校も決して例外ではありませんでした。お世話になった先輩校長から「卒業証書を渡すために、特別な施設へ出向いたことがある」という話を聞いたこともあります。

全国的な傾向なのかもしれませんが、少なくとも市内の中学校は、現在、比較的落ち着いています。青陵中学校は、その中でも一、二を争うほどの落ち着きようではないでしょうか。青陵中学校に着任して5年めを迎えます。この間、トラブルがなかったわけではないですが、あくまでトラブルの範疇であり、問題行動らしい問題行動は皆無でした。だからこそ「治に居て乱を忘れず」を肝に銘じてほしいのです。

足りているのはどんなところで、足りていないのはなんなのか、足りていないことを充足させるためにしっかりと分析して次の指導や支援に生かしてほしいと思うのです。

「蟻の一穴」。ほんの小さな欠陥を見逃したために、取り返しのできない結果となる。ごくわずかな手ぬかりから大事が起こるとえです。私たちが携わる教育という崇高な営みにも全く当てはまることです。綻びは小さなうちに、早期対応が問題を大きくしないためのキーワードです。そうならないためにも、私たち自身も、自らの言動に責任をもち、襟を正して日々生徒たちと向き合いたいものです。TEAM SEIRYO です。

読みまちがえやすい漢字を集めてみました。正しく読めるでしょうか。

- 1 あり得る
- 2 一段落
- 3 御用達
- 4 重複
- 5 続柄



※ 答えは裏面

1 あり得る

「ありえる」ではなく「ありうる」。

「得る」だけだと「える」と読めるからか。

2 一段落

おそらく「ひとだんらく」と読んでいる人の方が多いのでは。正解は「いちだんらく」。

3 御用達

正しくは「ごようたし」。でも、「ごようたつ」が正しいとする辞書も。

4 重複

「じゅうふく」でも「ちょうふく」でもどちらでもよいようですが、本来は「ちょうふく」。

5 続柄

辞書には「ぞくがら」「つづきがら」どちらも載っていますが、元々は「つづきがら」。